

おでかけだより

夏号 NO. 66

2020年7月1日



発行：NPO法人 おでかけサービス杉並 発行責任者：樋口 蓉子
〒167-0051 杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪103
TEL 03-6425-8584 FAX 03-5397-1755
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~npo-odekake/>

おでかけサービスの活動実績を報告します!

おでかけサービス杉並では、去る5月31日に第16回通常総会を行いました。
以下、移動サービス事業の主な活動指標についてご報告します。



◆ 移動サービスの実施回数（トリップ数）について

2012年度	3115回	2016年度	4859回
2013年度	3883回	2017年度	5261回
2014年度	3521回	2018年度	5453回
2015年度	4081回	2019年度	5916回

注1 トリップ数は乗車から降車までを1トリップと数えます。
往復の利用があった場合には2トリップとなります。

注2 2019年度のトリップ数は、5,916回で、目標とした5,600回を上回りました。但し、対価収入については近距離の利用が増えたため2018年度比横ばいでした。

◆ 各年度末の利用会員数の推移

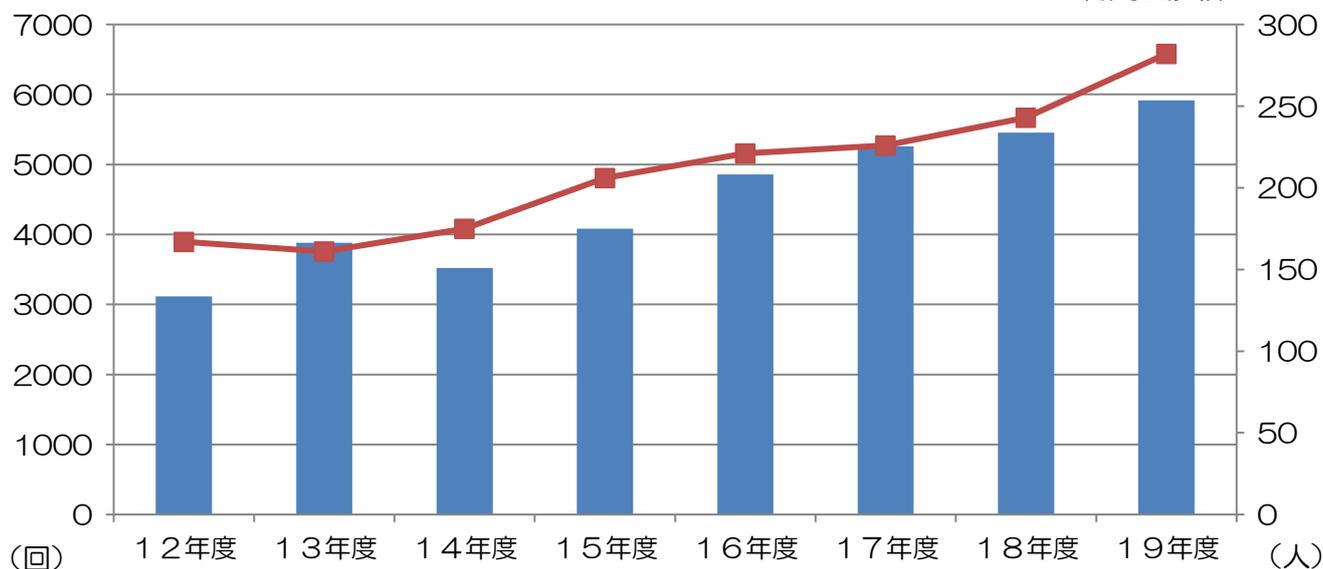
2012年度	167人	2016年度	221人
2013年度	161人	2017年度	226人
2014年度	175人	2018年度	243人
2015年度	206人	2019年度	282人

◆ その他

- (1) 2019年12月に、杉並区で2番目に大きな実績を持つ福祉送迎サービス・杉並が事業を停止し、同団体の利用者の一部の方々が当団体に会員登録をされました。ために2019年度末の登録利用会員数は大幅に増加しています。
- (2) トリップ数の増加と共にコーディネート業務が繁忙となりました。これへの対処として事務所職員の増員を行いました。

■ 移動サービス実施回数（トリップ数）と利用会員数

■ トリップ数
■ 利用会員数



コロナ禍の「けやきの見える家」から。。。



理事長 樋口 蓉子

コロナ禍、皆さまはいかがお過ごしですか？

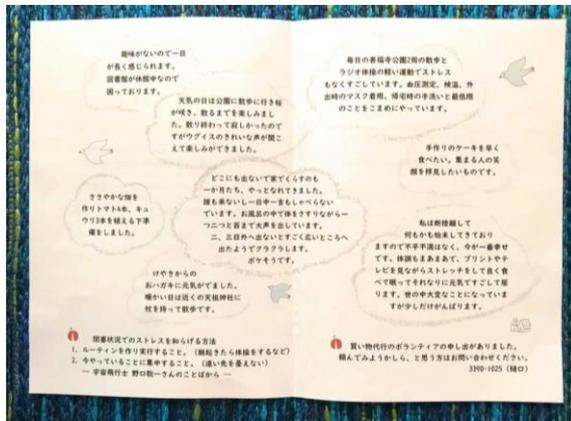
地域の活動も中止やら延期やら、そして再開後も制限付き・・・と、普段とは様変わりの生活が続いています。高齢者の方々はどのようにお過ごしか、身体が弱ったりしていないか、私たちも心配しています。

「オープンリビング けやきの見える家」も、3月に1回お花見散歩を実施しただけで、お休みが続いています（7月から変則的に再開の予定）。

この間、少しでも利用者の皆様方とのつながりを持ちたいと思い、往復はがきで近況を尋ねたところ、沢山の方々からお返事をいただきました。皆さんも「お葉書いただいて、嬉しかったわ」とおっしゃってくださいましたが、私たちもとても嬉しく拝見しました。このお返事をスタッフだけにとどめるのではなく皆さんにもお届けしたいと、いただいたお返事の一部を2回に亘って「かわら版」にまとめ、手渡しでお届けしました。「みなさまの様子がかがわれ、同じ思いで一日を過ごしているんだわ」と思いました。繋がっていることに幸せを感じ、元気をいただきました」と、嬉しい感想も寄せられました。

そう、自分のことを誰かが気にかけてくれる、わたしもあなたのことを気にかけている、みんな一人じゃない。そんな繋がりをもっと拡げていきたい、という想いを今、新たにしています。

新理事
鈴木利矢子
です！



2014年より、おでかけサービス杉並の荻窪の事務所にて福祉有償運送のコーディネーターとして、また昨年より事務局の業務にも携わってきました。ご縁がありこの度理事に就任することになりました。

2020年はコロナという未曾有の出来事で始まりました。福祉有償運送のご利用者の皆様は、楽しみのおでかけも、通院さえ控えざるを得ない状況が続いたことと思います。ゆうゆう館、その他の活動も休止となり、これまでの外出ができなくなった皆さんはどうされているのだろうと案じる日々でした。ようやく自粛も緩和され、おでかけサービスは「新しい生活様式」での利用方法を模索する必要がでてきました。安全で気持ちの良いおでかけのサービスに、私もお役に立てるよう取り組む所存です。福祉有償運送のご利用者、また運転協力員の皆様、また、今後はおでかけサービスの他の事業の関係者の皆様にもお世話になることと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

コーディネーター
つうしん



世界的な脅威をもたらした新型ウイルス。日本では長かった自粛が解除され、コロナと共に過ごす『新しい日常』が始まりました。この間、杉並区では日々感染者数の報告がありましたが、幸いな事に当団体関係での感染者はありませんでした。運行に関しては4月・5月と外出を控える方も多く、いつもの半分以下の利用状況でしたが、6月に入りデイサービスやリハビリなどの施設が再開したこともあり、利用も戻ってきました。久しぶりの予約電話の元気な声に話が弾みます。私たちはこれからも気を緩めることなく、検温・マスク・手洗い・消毒等を徹底し、感染防止に努めていきます。利用者みなさまも、検温・マスク着用などご協力をお願いします。

コーディネーター 野口 恭子